

「工事施行成績評定基準」の一部見直しについて

1. 緊急・応急工事、漁港浚渫工事、取壊し工事の「品質及び出来形」に係る
試行運用について
2. 「ばらつき判定方法」の変更について
3. 「創意工夫」のその他項目追加について

【平成 25 年 1 月 1 日以降評定工事から適用】

(令和 4 年 6 月 1 7 日 留意事項を削除)

北海道建設部建設管理課

1. 緊急・応急工事、漁港浚渫工事、取壊し工事の「品質及び出来形」に係る試行運用について

• 緊急・応急工事、漁港浚渫工事、取壊し工事



• 積極的な施工にもかかわらず他の工種に比べ適正な評価が困難でした。



• 均衡を図る是正が必要とされます。

• 緊急・応急工事は、災害等により被災した施設を復旧するために、発注から工事完成までの短期間を迅な対応に拠らなければならないが、現状の成績評定ではその迅性・社会性に対する履行評価を必ずしも反映できるものではありませんでした。

• 漁港浚渫工事は、各種制約を受けながらの施工の一方除去が目的である特性から、現状の成績評定では必ずしも適正に評価を反映できるものではありませんでした。

• 取壊し工事では、取壊し除去が目的であるため、高度な技術力を要する場合でも適正な成績評定が困難なものでした。

• このことの改善を図るため、当面の運用として「品質」に代わる「施工特性」として評価する概念を取り入れ、それらの特性を積極的に評価し、適正な評定を図るものです。

また、取壊し工事では、長大橋の撤去工事等、高度な技術を要するものに限り、「出来形」に関しては履行確認で評価しその適正な評定を図るものです。

• 現行評定基準を基本とし、当面の試行運用として取り扱い、「品質」に代わり「施工特性」として評定。

現行成績評定システムについては、当面の試行運用から最小限の改良とし、配点の変更はしません。

• 漁港浚渫工事では、施工管理基準の特性から、出来形のばらつきを80%以内と見なしてきたが、ばらつきを判定するうえで、下限値を仮定し評定を行います。

• 成績評定の試行運用



今回の運用見直しは建設部独自の試行運用

評定結果を踏まえて次期評定基準改訂時に正式改正

「品質」の評定配分を利用し「施工特性」としての評定へ

2. 「ばらつき判定方法」の変更について

- 品質及び出来形を評定する際に判断するばらつきは、各試験項目及び各測定項目の全てが 50%若しくは 80%の範囲内に収まることを評価の判断として運用してきたが、今後は各項目毎の母数の 8 割が 50%若しくは 80%の範囲内に収まることを評価の判断とし、品質及び出来形の評価としては、各項目毎の評価の中から低評価値を代表評価とします。
- 舗装の現場密度を評定する際に判断するばらつきは、下限値のみの管理基準値から、ばらつきの判断が困難なものとして 80%以内の見なし運用としてきましたが、今後は基準密度の 100%を中央値とし、下限値との範囲で 50%及び 80%を設定し、100%を中央値に上限値仮定のばらつき判断とします。

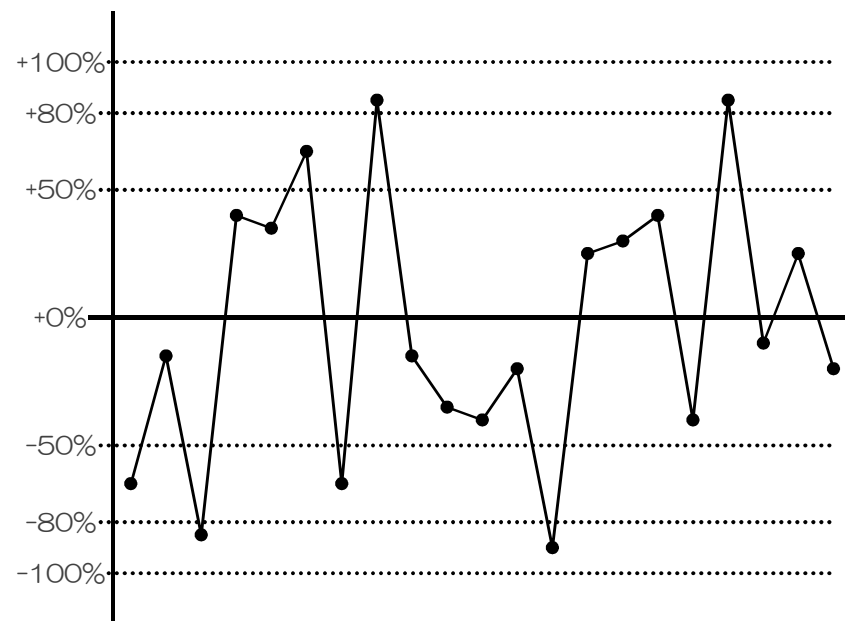
削 除

(令和 3 年 7 月 30 日 追記)
(令和 4 年 6 月 17 日 削除)

3. 「創意工夫」のその他項目追加について

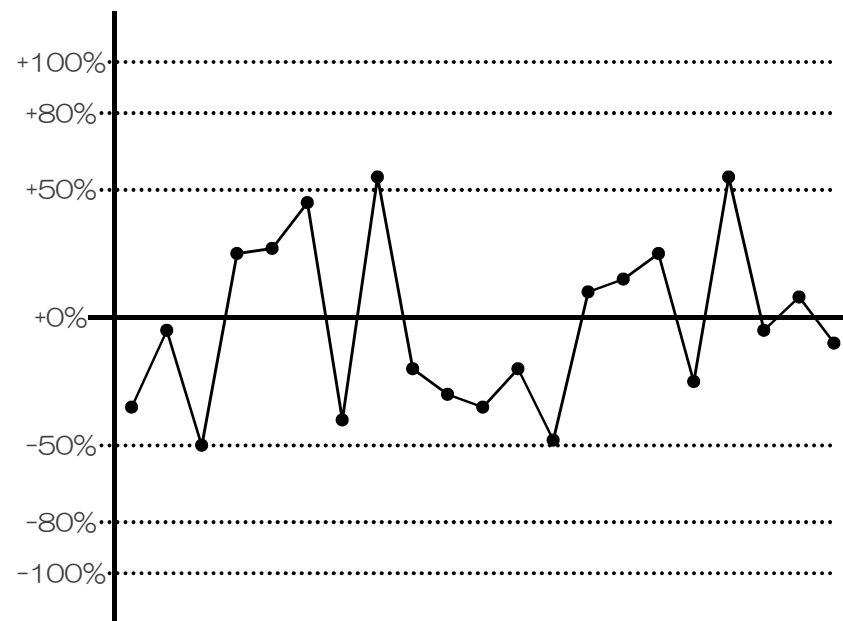
- 創意工夫で例示している、施工関係 17 事項、品質関係 4 事項、及び安全衛生関係 6 事項に抛らない事項として、その他をそれぞれ 1 事項設定しているが、新たな取り組みなど複数の例示が必要な事項を想定し、その他をそれぞれに 2 事項の記載を可能としました。

ばらつき判定 80%以内の例



上記では、打点数（母数）21 点に対し、ばらつき 80%以内が 17 点であり、打点数（母数）の 8 割以上を占めるため、80%以内と見なす。

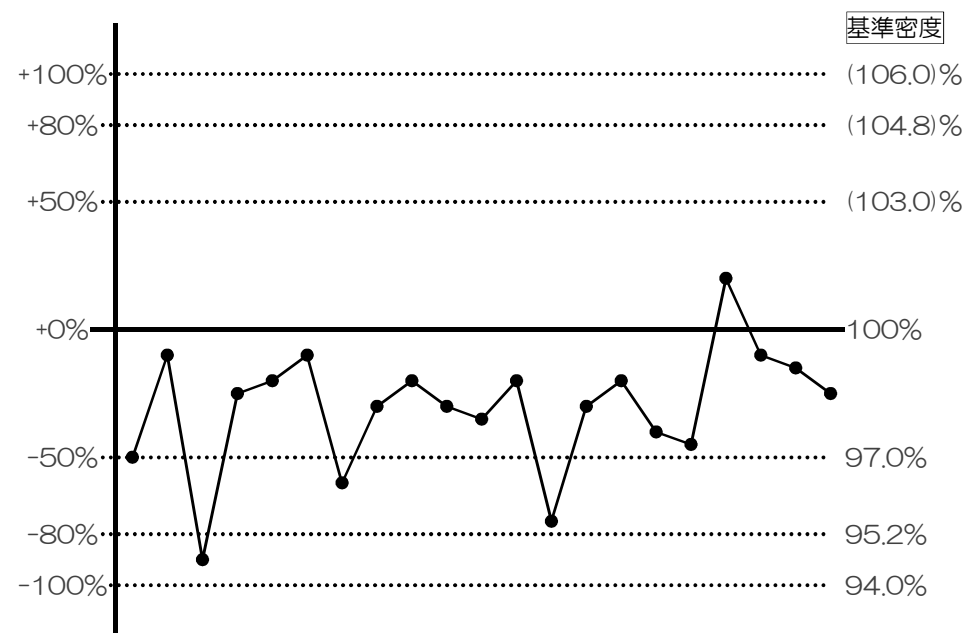
ばらつき判定 50%以内の例



上記では、打点数（母数）21 点に対し、ばらつき 50%以内が 19 点であり、打点数（母数）の 8 割以上を占めるため、50%以内と見なす。

別紙 2

舗装密度 車道部 基準密度 94%以上の場合



基準密度 94%を下限値とし、理論密度 100%を中央値に設定し、50%、80%及び上限値を仮定する。

上記では、打点数 21 点に対し、ばらつき 50%以内が 18 点であり、打点数の 8 割以上を占めるため、50%以内と見なす。

(改正後 追加シート)

様式-2C⑧

工事番号

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目 細別	工種	a	b	c
3.出来形 及び出来 ばえ 施行特性	浚渫工事	該当	「評価対象項目」	
		1	<input type="checkbox"/> 港内利用者との係船箇所、作業工程等、連絡調整が必要な工事。	
		1	<input type="checkbox"/> 土砂搬出堆積に際し、濁り、水切り・飛散防止等、環境保全に検討が必要な工事。	
		1	<input type="checkbox"/> 施工に際し、標識等の設置により安全対策が必要な工事。	
		1	<input type="checkbox"/> 防舷材、岸壁等既設構造への保全対策が必要な工事。	
	4	※該当項目が3項目以上・・・・・・・・・・a		
		該当項目が2項目・・・・・・・・・・b		
		該当項目が1項目以下・・・・・・・・・・c		
	評価	a		
	点数	7		

(改正後 追加シート)

様式-2C⑧

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目 細別	工種	a	b	c		
3.出来形 及び出来 ばえ 施行特性	緊急工事	該当	「評価対象項目」			
		1	<input type="checkbox"/>	地元関係者との円滑な調整や社会的要請に応える工事。		
		1	<input type="checkbox"/>	早期着手及び早期完成が必要な工事。		
		1	<input type="checkbox"/>	現地調査を行い被災した施設の復旧にあたり、監督員から指示のもとの確な技術判断が必要な工事。		
		1	<input type="checkbox"/>	短期工期の中で、適切な資材の手配、機械・人員配置が必要な工事。		
				4	※該当項目が3項目以上・・・・・・・・a 該当項目が2項目・・・・・・・・b 該当項目が1項目以下・・・・・・・・c	
				評価	a	
		点数	7			

(改正後 追加シート)

様式-2C⑧

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目 細別	工種	a	b	c
3.出来形 及び出来 ばえ 施行特性	取壊し工 事	該当	「評価対象項目」	
		1	<input type="checkbox"/> 河川管理者等との工法、工程等、連絡調整が必要な工事。	
		1	<input type="checkbox"/> 架設桁・栈橋等の仮設備計画、施工順序、存置部材への影響等について、施工管理が必要な工事。	
		1	<input type="checkbox"/> 部材吊上げ時の損壊有無、吊点部位置等、解体時の桁倒れ、座屈、ガラ落下等に、安全施工に対する検討が必要な工事。	
		1	<input type="checkbox"/> 有毒物質等の発生に際し、適正な防護対策が必要な工事。	
			4	※該当項目が3項目以上・・・・・・・・a 該当項目が2項目・・・・・・・・b 該当項目が1項目以下・・・・・・・・c
	評価	a		
	点数	7		

様式-5C⑧

工事番号

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c		
3.出来形 及び出来 ばえ II.品質	浚渫工事	該当	「評価対象項目」					
		1	<input type="checkbox"/>	港内利用者との係船箇所、作業工程等、連絡調整が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/>	土砂搬出堆積に際し、濁り、水切り・飛散防止等、環境保全に検討が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/>	施工に際し、標識等の設置により安全対策が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/>	防舷材、岸壁等既設構造への保全対策が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/>	その他（理由：)				
		1	<input type="checkbox"/>	その他（理由：)				
		1	<input type="checkbox"/>	その他（理由：)				
		1	<input type="checkbox"/>	その他（理由：)				
				8	※該当項目が6項目以上・・・a			
					該当項目が5項目・・・a'			
					該当項目が4項目・・・b			
					該当項目が3項目・・・b'			
					該当項目が2項目以下・・・c			
		評価	a					
		点数	15					

(改正後 追加シート)

様式-5C⑧

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c		
3.出来形 及び出来 ばえ II.品質	緊急工事	該当	「評価対象項目」					
		1	<input type="checkbox"/>	地元関係者との円滑な調整や社会的要請に応える工事。				
		1	<input type="checkbox"/>	早期着手及び早期完成が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/>	現地調査を行い被災した施設の復旧にあたり、監督員から指示のもとの確な技術判断が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/>	短期工期の中で、適切な資材の手配、機械・人員配置が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/>	その他（理由：)				
		1	<input type="checkbox"/>	その他（理由：)				
		1	<input type="checkbox"/>	その他（理由：)				
		1	<input type="checkbox"/>	その他（理由：)				
				8	※該当項目が6項目以上・・・・・・・・a			
					該当項目が5項目・・・・・・・・a'			
					該当項目が4項目・・・・・・・・b			
					該当項目が3項目・・・・・・・・b'			
					該当項目が2項目以下・・・・・・・・c			
		評価	a					
		点数	15					

(改正後 追加シート)

様式-5C⑧

工事番号

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c	
3.出来形 及び出来 ばえ II.品質	取壊し工 事	該当	「評価対象項目」				
		1	<input type="checkbox"/> 河川管理者等との工法、工程等、連絡調整が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/> 架設桁・栈橋等の仮設備計画、施工順序、存置部材への影響等について、施工管理が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/> 部材吊上げ時の損壊有無、吊点部位置等、解体時の桁倒れ、座屈、ガラ落下等に、安全施工に対する検討が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/> 有毒物質等の発生に際し、適正な防護対策が必要な工事。				
		1	<input type="checkbox"/> その他（理由： ）				
		1	<input type="checkbox"/> その他（理由： ）				
		1	<input type="checkbox"/> その他（理由： ）				
		1	<input type="checkbox"/> その他（理由： ）				
		8	※該当項目が6項目以上・・・・・・・・a				
			該当項目が5項目・・・・・・・・a'				
	該当項目が4項目・・・・・・・・b						
	該当項目が3項目・・・・・・・・b'						
	該当項目が2項目以下・・・・・・・・c						
評価		a					
点数		15					

(改正後 追加シート)

様式-2C⑦

工事番号

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目 細別	工種	a	b	c	d		e		
					評価		評価		
3.出来形 及び出来 ばえ 上部工取 壊し	I.出来形	該当	「評価対象項目」			評価	□ 不適切な施工 があったため、工 事監督員が文書で 改善指示を行っ た。	評価	□ 契約書第16条 に基づき、工事監督 員が改造の請求を行 った。
		1	□ 撤去部材の残留応力や断面欠損、吊点部について調査し、桁倒れ、座屈等の防止対策を検討していることが確認できる。						
		1	□ 仮設材について応力計算を行い、変形対策、流水等の災害への対処を含めて、仮設方法を検討していることが確認できる。						
		1	□ 有害物質調査、粉じん対策、飛散防止対策、安全衛生対策等、作業環境への配慮を検討していることが確認できる。						
		1	□ 発生材について処分や売り払いを考慮し、適正な処置により報告されていることが確認できる。						
		4	※該当項目が3項目以上・・・・・・・・a 該当項目が2項目・・・・・・・・b 該当項目が1項目以下・・・・・・・・c						
		評定	a						
点数	5								

様式-5C①

工事番号

工事成績採点の審査項目別運用表

(土木・検査員用)

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

評価項目細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3.出来形及び出来ばえ 上部工取壊し	I.出来形	該当	「評価対象項目」				評価 <input type="checkbox"/> 不適切な施工があったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。	評価 <input type="checkbox"/> 契約書第16条に基づき、工事監督員が改造の請求を行った。			
		1	<input type="checkbox"/> 撤去部材の残留応力や断面欠損、吊点部について調査し、桁倒れ、座屈等の防止対策を検討していることが確認できる。								
		1	<input type="checkbox"/> 仮設材について応力計算を行い、変形対策、流水等の災害への対処を含めて、仮設方法を検討していることが確認できる。								
		1	<input type="checkbox"/> 有害物質調査、粉じん対策、飛散防止対策、安全衛生対策等、作業環境への配慮を検討していることが確認できる。								
		1	<input type="checkbox"/> 発生材について処分や売り払いを考慮し、適正な処置により報告されていることが確認できる。								
		1	<input type="checkbox"/> その他(理由:)								
		1	<input type="checkbox"/> その他(理由:)								
		1	<input type="checkbox"/> その他(理由:)								
		1	<input type="checkbox"/> その他(理由:)								
		8	※該当項目が6項目以上…………… a 該当項目が5項目…………… a' 該当項目が4項目…………… b 該当項目が3項目…………… b' 該当項目が2項目以下…………… c								
		評価	a								
		点数	10								

(改正後)

様式-5C⑩-16

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a		b	c	d											
Ⅲ.出来形 及び出来 ばえ	維持修繕 工事	優れている。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。											
		該当	評価	「評価対象項目」 ※取壊しは、()を適用する。													
		1	1	<input type="checkbox"/> 小構造物等にも細心の注意が払われている。(残存構造物、在来地盤への仕上げが良い。)													
		1	1	<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。(きめ細やかな施工がなされている。)													
Ⅲ.出来ば え	評価 点数	1	1	<input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。(仮設物、ヤード等撤去後の復元が良い。)													
		1	1	<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。(施工管理記録などから、施工時の周辺への配慮の良さが伺える。)													
		4	4	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>該当項目が3～4項目の場合</th> <th>該当項目が2項目以下の場合</th> </tr> <tr> <td>3項目以上評価・・・a</td> <td>1項目以上評価・・・c</td> </tr> <tr> <td>2項目以上評価・・・b</td> <td>評価項目なし・・・d</td> </tr> <tr> <td>1項目以上評価・・・c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価項目なし・・・d</td> <td></td> </tr> </table>				該当項目が3～4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	1項目以上評価・・・c		評価項目なし・・・d	
		該当項目が3～4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合														
3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c																
2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d																
1項目以上評価・・・c																	
評価項目なし・・・d																	
a																	
5																	

様式-4C②

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

(土木・主任又は総括監督員用)

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

評価項目	細別	工夫事項	1/2
5.創意工夫	I.創意工夫		■施工関係
			<input type="checkbox"/> 1. 施工に伴う器具・工具・装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 2. コンクリート二次製品等の代替材の利用に関する工夫。
		1	<input type="checkbox"/> 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。
		1	<input type="checkbox"/> 4. 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式等の施工方法に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 5. 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 6. 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 7. 照明などの視界の確保に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 8. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 9. 運搬車両、施工機械等に関する工夫。
		1	<input type="checkbox"/> 10. 支保工、型枠工、足場工、仮棧橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 11. 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 12. 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 13. 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 14. ICT（情報通信技術）を活用した情報化施工を取り入れた工事。
			<input type="checkbox"/> 15. 特殊な工法や材料を用いた工事。
			<input type="checkbox"/> 16. 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。
			<input type="checkbox"/> 17-1. その他（理由： ）
			<input type="checkbox"/> 17-2. その他（理由： ）
			※上記項目に該当する場合、5点～0点の範囲で1項目1点の加点とする。
	小計	3点	
			■品質関係
			<input type="checkbox"/> 18. 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。
	1		<input type="checkbox"/> 19. コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 20. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 21. 配筋、溶接作業等に関する工夫。
			<input type="checkbox"/> 22-1. その他（理由： ）
			<input type="checkbox"/> 22-2. その他（理由： ）
		※上記項目に該当する場合、2点～0点の範囲で1項目1点の加点とする。	
	小計	1点	

様式-4C②

工事番号

考査項目	細別	工夫事項	2/2
		■安全衛生関係	
		<input type="checkbox"/> 23. 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)	
	1	<input type="checkbox"/> 24. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等(リスクアセスメントの実施を含む)に関する工夫。	
		<input type="checkbox"/> 25. 現場事務所、労務者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫。	
		<input type="checkbox"/> 26. 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。	
		<input type="checkbox"/> 27. 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。	
		<input type="checkbox"/> 28. 厳しい作業環境の改善に関する工夫。	
		<input type="checkbox"/> 29-1. その他(理由:)	
		<input type="checkbox"/> 29-2. その他(理由:)	
		※上記項目に該当する場合、2点~0点の範囲で1項目1点の加点とする。	
	小計		1点
	評点		5点
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+9点~0点の範囲とする。 1項目1点を目安とする。 	

※1. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。評価は「4. 工事特性」及び「6. 社会性等」との二重評価はしない。

※2. 詳細評価は、他の工事監督員の意見を聴取し、評価する。評価の際には、評価した理由を整理しておくこと。

※3. 評価は請負業者より報告、もしくは提案があったものを検討する。

※4. 次に示す事項は、当然実施されるものと判断し評価はしない。ただし、さらに工夫を加え効果が確認されれば評価する。

- (1) 関係諸法令に規定されている事項
- (2) 関係機関との打合せ及び許可条件等
- (3) 公共機関や団体が推進している事項
- (4) 設計図書・施工管理基準等に記載されている事項
- (5) 設計変更により発生した事項
- (6) 一般常識的な事項(社会通念上、一般的と考えられる内容)